

## 平成21年度 事業報告

1. 事業活動計画及び事業活動結果について審議・承認し、計画に基づき活動した（幹事会、部会）。
2. 10月7日～8日、第14回機電技術者意見交換会を開催（参加者27名）。
3. 10月8日、建設業部会を開催し、施工技術総合研究所竹之内博之技師長を招聘し、「現場ニーズに応える施工機械の開発」と題して講演会を開催
4. 現場見学会の開催
  - 7月29日～30日、北海道新幹線津軽蓬田トンネル他1工事（SENS工法による施工）と、津軽ダム本体建設（第一期）工事を見学した。「建設の施工企画10月号」に見学報告を掲載。参加者25名。
  - 11月26日、第二東名高速道路富士東舗装工事にて、自動追尾式TSによるコンクリート舗装等情報化施工を見学した。レンタル業部会と合同で実施。「建設の施工企画1月号」に見学報告を掲載。参加者29名。
5. 合同部会を開催
  - 11月2日、同部会を開催した。「直轄工事における使用原則基準値の引上げ」、「情報化施工の推進」及び「緊急災害復旧における課題」の3課題について、国土交通省担当官から説明を受け、意見交換を実施した。参加者86名。
6. 国土交通省との意見交換会の開催
  - 4月26日、時期排出ガス指定制度に関する要望書への回答説明会が開催され、「直轄工事における使用原則基準値の引上げ」で、引上げへの対応が難しいと判断されたトンネル工事用機械及び道路舗装工事用機械等の保有実態を調査を行った。
  - 6月7日、「建設生産システム意見交換会」を開催。前項アンケート調査結果、
6. 建設機械の安全情報を公開する場を設けるための活動を実施。（仮）安全情報技術会議の本格的運営の為の小会議（事務局：企画部）の立ち上げに参画、安全情報の公開基準の合意形成の協議を開始した。また、同小会議の求めに応じて、公開情報に関する検討を「建設機械事故防止推進分科会」で実施した。
7. コンクリートポンプ車総合改善委員会第一分科会に参画
8. 協会からの依頼によるアンケート調査に協力

⇒もどる